

観光社会資本の事例

テーマ	市民の身近なマリレジャースポット(片男波(かたおなみ)海水浴場)
【施設の状況写真】	
	
和歌山市民の身近なマリレジャースポットである片男波海水浴場	片男波海水浴場近景。奥に見えるのは和歌山マリーナシティ
【施設の利用写真】	
	
年間約31万人の海水浴客が来訪する。地元のみならず他府県からの来訪者も多い	海水浴シーズン以外にも多様な利用がある。写真はH17.4開催のカヌー体験スクール
【観光資源としての利用状況】	
<p>片男波地区は、万葉集にも読まれた伝統的な景勝地です。この中にある片男波海水浴場は、海水浴シーズンには、年間約31万人が来訪し、和歌山県内有数のマリレジャースポットです。</p> <p>現在は、海水浴シーズン以外にも水上オートバイ全日本選手権、カヌースクールの開催、ジャズコンサート、潮干狩り等、海水浴場背後の片男波公園と一体的となった通年利用を進めています。</p>	

テーマ	市民の身近なマリレジャースポット(片男波(かたおなみ)海水浴場)
<p>【社会資本の基礎データ】</p> <p>名称 和歌山下津港海岸(片男波地区)</p> <p>所在地 和歌山県和歌山市和歌浦南</p> <p>事業名 和歌山下津港海岸片男波地区海岸環境整備事業</p> <p>事業主体 和歌山県</p> <p>事業期間 昭和50年 ~ 平成19年(予定)</p>	
<p>【社会資本の役割・効果】</p> <p>当海岸は、延長 1,200m の白砂青松の美しい海岸であり、古くから海水浴場として県内はもとより県外からも多くの方が利用しています。ところが、台風などの高波浪により砂浜が消滅し、利用できなくなってきたことから、昭和50年度より海岸保全のみならずゆとりと潤いのあるウォーターフロントを創造することを目的に海岸環境整備事業を進めています。</p> <p>事業概要として離岸堤、養浜、護岸、遊歩道等を整備し、日常的な海洋性レクリエーションの場の創造を進めています。</p>	
<p>【位置図】</p>  <div data-bbox="863 1420 1410 1731" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【アクセス】</p> <p>JR「和歌山駅」・南海電鉄「和歌山市駅」から和歌山バスで25分「不老橋」下車徒歩10分</p> <p>阪和自動車道「和歌山IC」よりお車で約20分・約10km(有料駐車場有り)</p> </div>	
<p>【関連ホームページ】</p> <p>和歌山市ホームページ http://www.city.wakayama.wakayama.jp/menu_4/kankou/kataonami.html</p>	